



東京オートサロンにて、Kブレイクの新シリーズ・ハイパーゼロカスタムGTを纏ったLS中期がデビュー。ここ最近ではシンプル系のエアロを提案してきたが、今作では一転、過去最大級に派手なエアロをリリースしてきた。会場ではアメリカでKブレイクの代理店を務めるカーリンとツーショット。彼を含め、海外の方たちからの評判もとても良かったそう。

サ

ロン&メッセのKブレイククラブに遊びに来てくれた皆さん、ありがとうございます。今回の目玉はLS中期。これは新ブランド・ハイパーゼロカスタムGTの第一弾モデルで、前後バンパーは2ピース構造がこだわりです。そして新パーツ・リアウインドウルーバーにもチャレンジしました。会場での反響は想像以上(笑)。この勢いについで、次はLS後期用を作りますからね。お楽しみに。

そして、今月号の「おもしろごはん」では、編集部にお手紙をくれた3名の愛車を紹介します。それぞれ個性があって◎なクルマですよ。

一台目は210クラウン。オーナーは西山サンで、25年ほど前になるのですが、当時はワゴンなどの雑誌の常連サンだったそう。スゲー。雑誌に取り上げられる人って、や

っぱり光るモノを持っているんですよ。このクラウンにもそれが表れていて、パツと見はシンプルなんですけど、実はマジエスタのグリルを超自然に移植してたり、各エアロにはさり気なくフィンを追加したり、他のクルマとは違う個性があつていいなと思っていました。

ホイールはBBS、ブレーキはブレノボという大人な感じもいし、HKSの車高調でキメた車高の具合もお見事。若い時にドレスアップを経験してきただけあって、そんな風に思わせるイジリです。

西山サンは49歳。僕よりも年齢が上の人が車高短に乗っている姿を見ると、僕も頑張ろうって励みになります。また、今もなお、クルマのドレスアップを楽しめるっていうのは、きつと周りの仲間との関係もい

Kブレイクから絶対注目の新作エアロがデビュー!



神奈川県 / 西山 英樹 (49歳)



210クラウンはアスリートが人気だが、こっの方が飽きずに長く乗れると思う。あえてロイヤルを選んだそう。必見ポイントはグリルで、210マジエスタ用を違和感なく装着させている。エアロパーツはフロントがTRD、サイドリアがモデリスタ、ウイングがトムス。ホイールはBBSの20インチをチョイス。減衰力30段式のHKS車高調でローダウンし、シビアなツライチも手に入れた。



オートサロン&オートメッセを賑わせたド派手なKブレイクのLS中期。みんな、会場でチェックしましたが、今回の『おもしろごはん』は、そのLS中期のお話を少し混ぜつつ、編集部に送ってくれた3名の投稿写真をじっくりと見ていきます。3人の愛車はどれも個性的で、見応え十分!



K.BREAK 大林 一樹 Kazuki Ohbayashi

「ウインドルーバーは運転中に後ろがちゃんと見えるようになっていんですよ。しかも、窓が洗えるように脱着も可能です」。

っかりやっていて、しかも、テーマ通り、バランスもいいですね。

僕的に特にいいなって思うのはオーナーフエンダー。出し幅はフロント3センチ・リア4センチでまあまあサイズのんですが、写真で見ると、違和感を感じさせない作りになっていますね。

あと、最近ではやる人が少ないですけど、名刺を挟んでツライチをアビっているのもナイス。今の世代の若い人は知らないかもしれないですが、昔はこれが大流行で、「ツライチは名刺一枚のクリアランス!」っていうフレーズも流行りましたよね。僕的には当時の雰囲気を感じて、懐かしいな〜って思いました。

今月のラストは河合クンの33シマ。オーナーフエンダーで、ちょっとハミタイ気味でっていう、この仕様は僕の大好き。いいですね〜。シ



千葉県 / 小杉 誠 (30歳)



鮮やかなオリジナルレッドで身を包んだ120マークX。オーナー的にはヘッドライトも自慢で、「イカリングは様々な色に変化します。オリジナル感が出せたと考えています」。エアロはLDJを装備。ホイールはエクイップの19インチで、F9.5J・R10.5Jの深リム仕様。抜かりなく、内装にも着手。オーダーメイド仕様のシートカバーで華やかな印象に。

ンブルでイカツい雰囲気を目指しているそうなんですけど、ホンマ、その通りになっていると思います。33シマって色んなイジリ方があるんですけど、やっぱり、33系はこの感じが一番かなって、写真を見て思っちゃいましたね。

その他、このクルマの見所を挙げ

るなら、フロントリップの張り出した感じと、オールステンレスのハス切り斜め3本出しマフラーかな。ちょっとやんちゃな感じが堪らないですよ。内装とオーディオは白ベイスでシンプルなんですけど、上手くバランスを差し込んでいて、そのバランス感覚も秀逸。

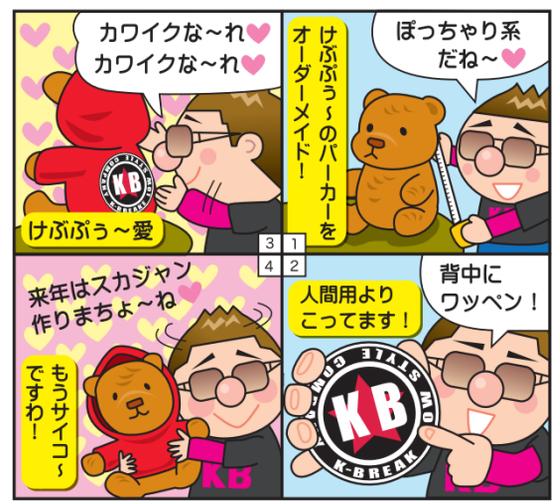
「一度、大林サンとお話ししてみたいです。絶対に仲良くなれると思います。あと、この歳で33シマってどう思いますか」と河合クン。同年代だし、このクルマの作りを見ても、確かに話が合いそうな気がしますが(笑)。ぜひ、いつかしゃべりましょうね。あと、33シマはまだまだいけますよ! 僕もこの歳で14マジエをイジっているんですけど、この年代のクルマのことは僕ら世代が一番理解しているはず。若者に負けなように一緒に頑張りましょう。

待ってマース!
投稿募集中

「僕もKブレイクの大林サンに愛車を評価して欲しい!」と思った方は、ぜひ編集部まで写真とアンケートを郵送してください。大林サンが愛情をたっぷり添えて、キミのクルマを全国のみんに紹介してくれますよ。

「パーカーを着せました」の巻

一樹が行く!



今年はけぶぶら〜にパーカーを着せました。まず、けぶぶら〜の身体測定をして、ぴったりサイズのパーカーを工場でオーダーメイド。生地は厚手を選び、背中にはワッペンもあしらって、もうね(笑)、人間用のパーカーよりもこだわっていますよ。そして、ショーの前にスタッフみんなで「可愛く〜ね、可愛く〜ね」って言いながら着せましたんですけど、その甲斐あって(?)、めっちゃ可愛くなりました(笑)。



兵庫県 / 河合 秀昭 (44歳)



内外装、そして、トランクまでやっている、全身隙なしの一台。エアロはエイムゲイン加工。ホイールはプロフェッサーMS3の18インチ。洗いブラウンパールボディカラーも、この仕様とマッチしている。内装はフル張り替えで、白をベースにボコボコした茶色の生地をあしらったのがポイントだ。